

サポートルーム通信

令和5年9月吉日

No 3

馬込第三小 拠点校校長

馬込小 巡回校校長

池雪小 巡回校校長

<巡回校学校長より>

夏休みも終わり、学校には子供たちの元気な声もどってきました。今年の夏は、観測史上最も暑い夏だったようです。9月も残暑が厳しいとの予報が出ていますので、引き続き熱中症に気を付けながら指導するとともに、子供たちが元気に学校生活を送ることを願っています。

さて2学期は1年で一番長い学期です。4ヶ月間、各学校では様々な行事が予定されています。まずは夏休みの生活から学校生活のリズムにもどすことが大切です。学校生活に慣れてきたところで、運動会、音楽会、展覧会など秋の学校行事に向けて、子供たちはいつもと違った時間割、環境での学習が増えてきます。指導する先生方は、子供たちが今もっている力を存分に発揮できるよう、学習の見通しをもたせたり、学習方法を分かりやすくしたり、できるだけ個に応じた支援を心がけてまいります。ご家庭でもぜひ、子供たちが今、何に取り組んでいるか、どんなことが楽しいか、また難しく感じているか、お話をする機会をたくさんもっていただきたいです。また子供たちが自分の力を発揮するために大切なことは体調管理です。特に睡眠リズムを整えることは、子供たちの安定した学校生活を支えることにつながるといわれています。睡眠をしっかりとらないと、落ち着きのなさにもつながります。睡眠は身体を休めるとともに、成長期の子供の身体や心の発達にも大いに関係してきます。学校生活が忙しくなってきたときこそ、子供たちの入眠時間、起床時間にも気を配っていただけるとよいです。

1学期の学びをもとに、2学期も子供たち一人一人の目標の実現に、そしてよりよい成長に向けて、巡回指導教員と学級担任が連携しながら、日々の指導に取り組んでまいります。今後とも各校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

大田区立池雪小学校長

<サポートルーム行事予定表>

	2学期サポートルーム終了日
馬込第三小学校	12月18日(月)
馬込小学校	12月15日(金)
池雪小学校	12月15日(金)

個人面談 12月19日(火)～12月22日(金)

*詳細は後日別紙にてお知らせします。

<こんな学習をしています> 小集団授業より

『的当て』『輪投げ』『ボウリング』

サポートルームの小集団の授業では、的当てや輪投げ、ボウリングを通して

「体の使い方」や「感情のコントロールの仕方」、「友達との関わり方」等を学んでいます。

1 進め方



- ① スライド等を活用し、めあての確認やルールを説明する。
- ② 順番を決める。応援する言葉や励ます言葉を確認する。
- ③ 活動を行う。
- ④ 得点を計算する。
- ⑤ 協力して片付ける。
- ⑥ めあての振り返りをする。

2 体の使い方

体の使い方を指導する際は、「よく見て投げる」「ふわっと投げる」といった活動のめあてを設定しています。視線や手の向き、力の強弱、投げ方などを指導しています。

3 感情のコントロールの仕方

感情のコントロールの仕方を指導する際は、「勝ち負けを受け入れる」といった活動のめあてを設定しています。負けて怒ってしまう子、自分の点数にこだわり友達に関心がない子、勝ったことで自慢してしまう子がいます。そのような子には、勝ち負けにこだわらずに楽しむことができるように指導を続けています。

4 友達との関わり方

友達との関わり方を指導する際は、「応援の言葉を言う」や「相談する」といった活動のめあてを設定しています。応援はしようとするけれども、言葉が出てこない子、相談して自分の考えを伝えることが苦手な子、相手の意見を受け入れることが難しい子がいます。そのような子供たちに対して、モニター画面やホワイトボードに応援の言葉を記入し、視覚化することで応援しやすくしています。また、投げ方や投げる場所を相談し、自分の考えや相手の意見を受け入れて活動できるよう指導しています。くり返し指導することにより、徐々に友達を見てタイミングよく応援し、相談して仲良く活動する子供たちの姿が見られるようになりました。友達から「がんばれ。できるよ。」と応援されたり、高得点を出したときに「すごいね。」と褒められたりすると、褒められた子は、嬉しそうな表情をしています。これからも、友達との適切な関わり方を身に付けることができるように、指導をしていきます。

ま と あ て

めあて

・ 相談する

<ルール>

① チームで3きゅうなげる。

② 点数の合計点を計算し、つたえる。

赤・・・プラスなし

白・・・プラス1点

みどり・・・プラス2点

たまは、
かた手でなげる

<相談すること>

1. じゅんばん
2. なげるばしょ
3. なげかた

相談するって？

うんうん。
なるほど。

ぼくは、〇〇が
いいと思う。

あいつのいい見を聞く

自分のいい見を言う

いい見がちがったら・・・

ちがういい見
だけど、
それでも
いいよ

じゃあ、
〇〇なら
どうかな？

ゆずる

ほかのいい見を言う